

# 情報連絡員報告総括表(令和2年1月分)

三重県中小企業団体中央会  
 連絡員総数 40名  
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況				
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化		
製造業	食料品		4		1	3		1	3			4			2	2			3	1		4			4			1	3
	繊維工業		1	2		3			2	1		2	1		2	1			2	1		3			2	1		2	1
	木材・木製品			1		1			1				1			1				1				1					1
	紙・紙加工品			2	1	1			2			2			2				2			2			2				2
	印刷		1			1			1			1			1				1			1			1				1
	化学・ゴム																												
	窯業・土石製品			3		3			3			3			1	2			3			2	1		3			1	2
	鉄鋼・金属		1			1			1			1			1				1			1	1					1	
	一般機器		2	1	1	2			3			3			1	2			3			3			3			1	2
	電気機器			1		1			1			1			1				1			1			1				1
	輸送機器			1			1		1			1			1				1			1			1				1
その他																													
小計		9	11	3	16	1	1	18	1		18	2		8	12			16	4		12	8	1	18	1		7	13	
非製造業	卸売業		1	1		1	1	1	1		2			1	1			2					2				1	1	
	小売業	1	1	4	1	3	2	2	2	2	5	1		2	4			3	3				5	1			1	5	
	商店街		1				1		1		1				1			1					1				1		
	サービス業		3	2					4	1		5			3	2			5				5				5		
	建設業	1	3						4		1	3		1	3			1	3				4			1	3		
	運輸業			1					1		1			1				1					1					1	
	その他		1						1		1			1				1					1				1		
小計	2	10	8	1	4	4	3	14	3	1	18	1	1	11	8	1	16	3				19	1		1	12	7		
合計	2	19	19	4	20	5	4	32	4	1	36	3	1	19	20	1	32	7			12	8	1	37	2	1	19	20	

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成31年1月～令和2年1月)

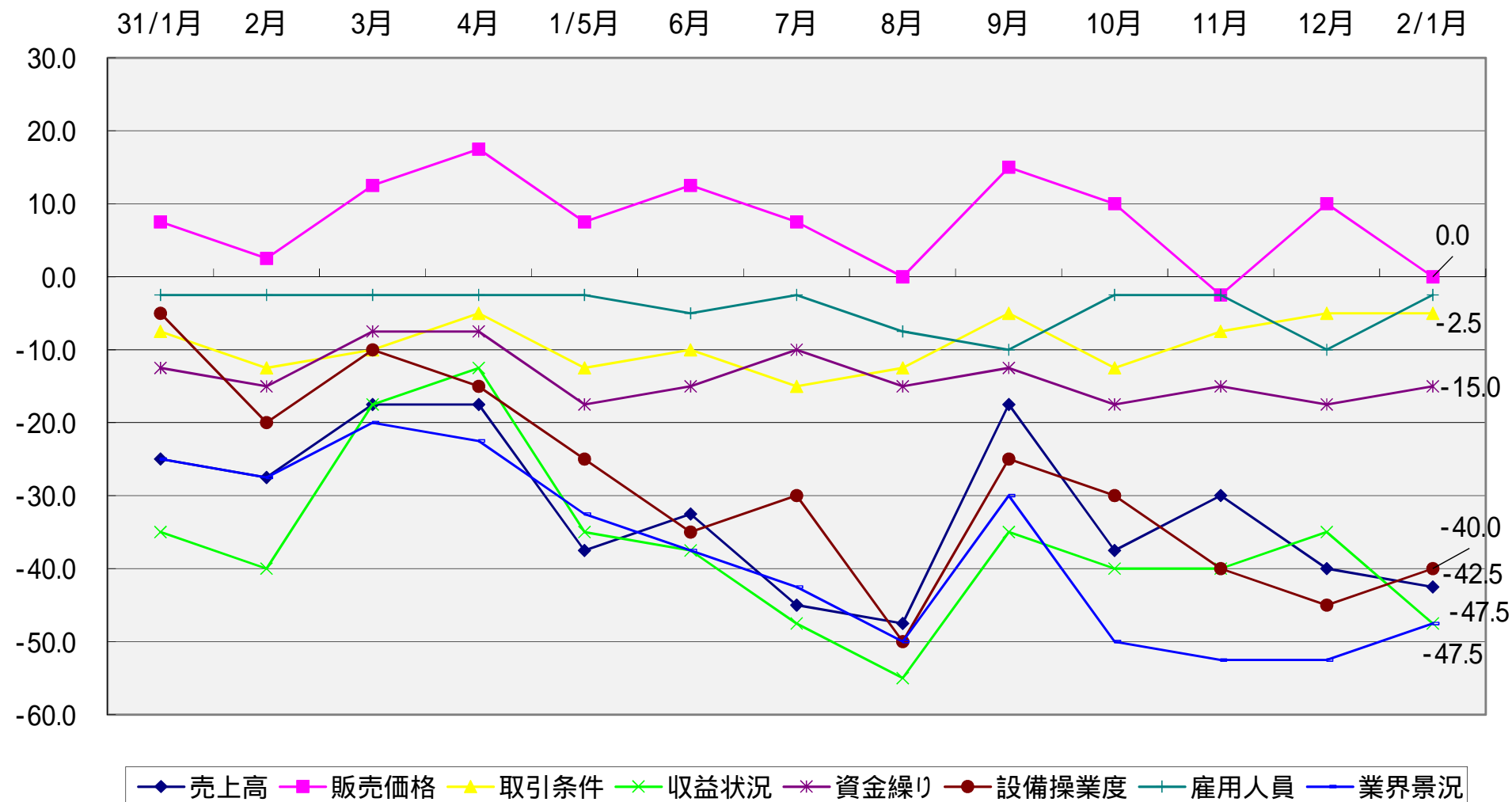
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	31/1月	2月	3月	4月	1/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	増減
売上高	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-30.0	-40.0	-42.5	-2.5
販売価格	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-2.5	10.0	0.0	-10.0
取引条件	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5	-5.0	-5.0	0.0
収益状況	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-40.0	-35.0	-47.5	-12.5
資金繰り	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	2.5
設備操業度	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-40.0	-45.0	-40.0	5.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-10.0	-2.5	7.5
業界景況	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-52.5	-52.5	-47.5	5.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。秋野菜の作付については、台風と長雨の影響により初期の生育の遅れがみられたが、その後の天候の回復により生育が進み、生産過剰となっている。外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を今後に予定しており、県内2社が受験のための事前研修を希望している。
	醤油味噌	組合員2件の取引先が倒産したが、大きな影響はなかった。全国の醤油の昨年の出荷量は、スーパーの食料品や新車登録台数同様のマイナス1.5%の見込み。全国の味噌は100%を上回る見込み。醤油は家庭用から業務用・加工用にシフトしているが、それでも伸び悩んだ。味噌は小売店で販売される味噌の量は減っているが、即席味噌汁向けの供給量や輸出が引き上げた。
	豆腐	スーパー等の量販店、特に下段商品棚の商品は県外大手の豆腐製造業者の商品が多く納入されており、県内の豆腐製造業者は苦戦している。
	製麺	令和2年も1ヶ月が過ぎた。新型コロナウイルスで大変な事態になっている。今のところは大きな影響はないが、マスクが品切れ状態等問題が出ている。1月は全国製麺協同組合連合会の理事長会があり、現状の組合組織は年々減ってきている。今年よりうどん部会、ラーメン部会、パスタ部会を立ち上げて全国で発信し、共有していける組合活動にしていく事が大切であるとの認識をし、取り組んでいく。全国で毎年160社程の廃業が続いているのが現状で、現在は970社位である。
	衣料縫製	最低賃金値上げ等に伴う経費増加分を得意先や工賃に反映がしにくく、経営に悪影響を及ぼしている。
	テントシート	暖冬という事もあり、例年この時期に注文の増える商品の受注が少ないし、その他のものについても同様である。
木材・木製品	木材	消費税増税以降も引き続き需要の低迷が続いている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	暖冬の影響で食品、海産物向けの段ボールケースの需要が少ない状況である。インフルエンザの流行、新型コロナウイルスの影響で医療向け(消毒液、アルコール類など)の段ボールケースの出荷が増えている。
	古紙	1月の取扱い重量は、前年比:段ボールは約99±7%、新聞、チラシは約94±8%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約97±6%と思う。暖冬で青果物や飲料・家庭紙等が前半並みに売れずに製紙会社様の製紙原料購入量は平均20%程のマイナスが続いている。三重県内の持ち去り業者を2人捕まえていただいた結果かどうか分からないが、新聞雑誌の入荷が大幅に戻った。人手不足と古紙在庫等で古紙の引取り業務の有償化や古紙回収を断られたお客様が散見される。輸出価格は低位安定で国内で売れない古紙は赤字輸出をしている。令和元年の夏休みに組合員がまちゼミで開催した出前授業「楽しく学ぼう紙リサイクル講座」を桑名市在住の4年生の方が受講され、文部科学大臣賞が新設された古紙リサイクルコンテスト2019の作文部門に応募されたところ、第1号の文部科学大臣賞を受賞された。今後の更なるリサイクル活動の明るい話題となり、大変ありがたい事である。インドネシアの古紙の輸入は再開されたとの情報が入った。近所の製造業の方が倒産した。新型コロナウイルスで更に景気は減退?紙離れや古紙の持ち去り行為で扱ひ量は減り、ゴミの不法投棄は増え、古紙の赤字輸出等々、倒産も明日は我が身か?
印刷	印刷	年度末の繁忙期に向けてようやく受注が増加してきた。しかしながらこの時期は、印刷の前段階の制作等に作業が集中するため、製品の納品には至らぬものが多く、収益の増加につながるのは次月以降になる。
窯業・土石製品	伊賀焼	昨年同月に比べ入館者数は増加しているものの売上は低調であった。また、新型コロナウイルスの発生もあり、陶芸教室のキャンセル、来館者数にも影響があり、今後もしばらくは続くと思われる。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は12月と比べ稼働日数が少ないため、減少傾向にあったものの、自動車部品関連・建築関連部品・産業機械関連・電気部品関連すべて概ね横並びの状態。その中、半導体関連部品は増加に転じるとの観測がなされていたが、緩やかな増加に留まり、春以降の動きに注目される。労働力不足も若干ではあるが、少しずつ解消に向けて動き出しつつある。
一般機器	四日市	中国で起きた新型コロナウイルスで世界中がパニックとなっている。人間への影響と共に、産業界に与える被害も大きい。いつ頃、終息するのか分からないが、オリンピックまでには・・・と祈るばかりである。
	津市	売上は不変としたが、ある得意先1社だけが良かっただけで、その得意先を除くと悪化となる。消費税増税後の国内の自動車、住宅の売れ行きは思わしくなく受注が減っている。また、得意先の在庫調整もあり、しばらくはこの状況は続きそうな感じがする。
	伊勢	自動車業界の景気悪化が続く中、中国武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎の拡大で、日本企業にも影響を及ぼし始めた。先行きがわからなくなってきた。
電気機器	鳥羽	期末の受発注量は増えず、状況としては危機感を感じている。15%ダウンで推移している。

## 情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
輸送機器	鈴鹿	全体的に受注量は減っているが、新型コロナウイルスの影響による中国の生産拠点の休業やリスク分散の目論見により、一部の製品では増産や移管受け入れの検討依頼があった。しかしながら景気の先行きが非常に不透明な状況であり投資の判断に困っている。
小売業	青果	野菜前半：年始の荷動きが悪く、全国的な暖冬の影響で収穫量が多く供給過多による安値、特にキャベツ、大根、白菜等は例年よりかなり安い。椎茸、白菜、しめじ、水菜等鍋物用も安い。野菜後半：安値が続く白菜、白ネギ、しめじ等の鍋物の需要が伸びず、市場関係者は産地も大変苦しんでいる。玉ねぎ、じゃがいも、長芋は安定した価格。果物前半：みかんの入荷が少なく高値。青森産りんごの出荷がピーク。いちごは最盛期だが、価格は高値が続いている。果物後半：いちご、みかん、りんごが例年より1~2割程高値。伊予柑、ポンカン、せとか等の柑橘類も増えている。伊予柑は少し安くなってきている。
	自転車	2020年はオリンピックイヤーであり、自転車業界としては大きな期待をもって年明けした。1月はまだ真冬とあってその筋の売上が上がっているわけではないが、入学シーズンの春需要に対する仕込みと合わせて浮足立つ業界仲間が増えてきている。高齢者需、健康志向、エコ対策と期待できる要素はある。今年は良い年であればと思う。
	電器	1月度は、例年通り正月休みの間に故障した家電の修理が主になり、家電製品の動きは少ない月だが今年は特に苦戦をした。そこでお客様への訪問を増やして、春からの商戦に向けて活動を進めた。
	石油	1月の燃料油販売数量については、前年対比燃料油販売全体として9%前後の減販状況であった。特に燃料油の灯油販売状況が暖冬の影響により、前年に対してかなり減販状況であった。収益面については、各元売りの原油価格の下落により販売価格の値下げ状況であるが、販売数量減販により、厳しい状況は変わらない。2月から3月にかけてタイヤ・オイル交換、車検の早期販売キャンペーンの販売促進強化をはかっていきたい。
	スポーツ	2月4日、5日と全国理事長会議(日本スポーツ用品協同組合連合会)が大阪であった。その席で全国中央会の鮎川氏と親しく会話する機会があった。お願いした事は低額の契約(官公庁の契約)金額の上限をもっと上げてもらう話をした。現在、文書にて表されている額と実際に学校等の金額との隔たりが大きいように思う。
商店街	熊野市	第8回目として開催された熊野のサンマをPRするイベント「熊野きのもとさんま祭り」は熊野周辺他、小雨まじりの悪天候にも関わらず、県内外等からの約4,000名の集客があり、盛り上がりを見せた。また、会場近隣の熊野古道を周遊した後、会場に訪れるツアーも組み込まれ、名古屋周辺のツアー客120名がサンマ丸干しを堪能された。
サービス業	旅館	年始は天候にも恵まれ、どこも好調に集客されていたようであるが、中旬以降は中華圏の春節休みを利用したインバウンドのお客様が押し寄せる時であるが、県内どこもインバウンドのお客様の予約が少なく、ここで集客しないとインバウンド先進県にますます遅れをとる事になるため、官民あけて誘客活動に取り組む必要がある。新型コロナウイルスによるキャンセルは、県下全体では施設により差はあるが、他県に比べて少ないようである。
	測量	専務理事、事務員に退職していただき、経費を最小限に抑えた結果、資金繰りは楽になったが、その分、理事の負担が増えた。今後の運営については、考えるところに来ている。
	警備	年始の休業と月末の天候不良のための休業があり、例年よりも稼働日数が少なく、売上が減少した。
建設業	内装工事業	1月は前年同月比で12月に続きプラスとなった。前月のコメントでもふれたが、年度末まで前年の売上高値が高い水準なので、今年度の年度末の値は減少すると思われる。
運輸業	トラック	輸送需要の減少から稼働日数が短かったため、減収となった事業者が多かった。

## 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	引き続き、ハサップに取り組んでいく。
繊維工業	テントシート	働き方改革の内容について、よくわからないので、教えてほしい。
一般機器	四日市	人口減少、高齢化と自主廃業で企業が激減しつつある。
サービス業	旅館	この度の新型コロナウイルスに対するキャンセル被害の問い合わせが各機関よりあるが、窓口を一元化してほしい。
	測量	このままでは廃業に追い込まれるだろう。